平成 26 年度　第 24 回秋季シンポジウム

阪神間ルネッサンスVI
燦 (きら) めいて雅 (みやび)　－女流表現の美学―

今年度は年間統一テーマとして「燦 (きらめき)」を選び、様々な視点から新たな生活美学の可能性を会員とともに探りました。各分野において最前線で活躍する燦めく女性に注目し、生活美学研究所設立以来のテーマ、広く学芸と生活のなかに息づく美学を深めました。

記

日時

2014 年 11 月 22 日（土）　13：30～17:15

場所

武庫川女子大学　甲子園会館　西ホール

定員

200 名

参加費

無料

申込

要申込・先着順

専用ハガキにてお申し込みください（お名前・ご連絡先をお知らせいただければ、案内状・専用ハガキを送付いたします。）

申込締切

11 月 14 日（金）必着

定員になり次第、締め切らせていただきます。なお、定員超過の場合のみご連絡致します。

※訂正とお詫び

案内状の内容のタイムテーブルに誤りがありました。下記内容に訂正いただきますようお願いいたします。大変申し訳ありませんでした。

次 第

13:00

受付開始

13:30

開会　　総合司会 : 黒田 智子（生活美学研究所）　　挨拶：森田 雅子（生活美学研究所）

13:40

講 演 1 「舞を通しての女性の美しさ」山村若峯董芳恵 氏

14:20

講 演 2 「“干物女”的処世術」ひうらさとる 氏

15:00

対談 「女性の燦めきについて考える」木村信司 氏 × 森田雅子

15:40

休憩

15：55

パネルディスカッション

参加者：木村信司氏、ひうらさとる氏、山村若峯董芳恵氏、福井栄一氏

進　行：竹島信夫（生活美学研究所）

17:15

閉会

○講演 1「舞を通しての女性の美しさ」
山村流新進気鋭の舞踊家 山村若峯董芳恵 (やまむらわかほうどうよしえ) 先生が上方舞の型や、四畳半で舞いきる簡素な振り付けのカッコヨサについてお話しされます。
○講演 2「“干物女 (ひものおんな)” 的処世術」
女流漫画家のひうらさとる先生に、ドラマ化と映画化された話題作「ホタルノヒカリ」に表現される人間尊重の目線について語っていただきます。また話題作を生み出し続けるためのワークライフバランスについてお話しされます。
○対談「女性の燦めきについて考える」
宝塚歌劇団演出家の木村信司先生が森田所長と対談し、栄光のトップスターの燦めき、舞台裏、そして演出家としての信念について大いに語っていただきます。
○パネルディスカッション
上方文化評論家の福井栄一先生も加わり、竹島研究員のコーディネートにより、会場の皆様との活発な研究討議を目指します。

講師
木村信司 氏（宝塚歌劇団演出家）
ひうらさとる 氏（漫画家）
山村若峯董芳恵 氏（山村流上方舞）
福井栄一 氏（上方文化評論家）

武庫川女子大学 生活美学研究所 平成 26 年度 秋季シンポジウム
「阪神間ルネッサンスVI 燦めいて雅 －女流表現の美学－」

日　　時：2014 年 11 月 22 日（土）13：30 ～ 17：15（受付開始 13 時）
会　　場：武庫川女子大学甲子園会館（旧甲子園ホテル）西ホール
定　　員：200 名（要申込・先着順・参加費無料）
申込方法：お名前、ご連絡先を研究所までお知らせください（専用ハガキ・TEL・FAX）
申込締切：11 月 14 日（金）必着
講　　師：

木村 信司（宝塚歌劇団演出家）
千葉県出身。
1988 年 宝塚歌劇団入団。
1993 年 宝塚大劇場公演デビュー。
2002 年『風風伝』で社団法人日本演劇協会賞受賞。
2003 年『王家に捧ぐ歌』が第 58 回芸術祭演劇部門優秀賞受賞。
2015 年 1月7日～1月19日 東京国際フォーラム公演『Ernest in Love』を上演予定。

福井 栄一（上方文化評論家）
1966 年 大阪府生まれ。
京都大学大学院法学研究科修了(法学修士)。
関西大学、京都ノートルダム女子大学非常勤講師。
上方舞・地歌などの芸能、歴史文化に関する講演、評論、テレビ・ラジオ出演などを各地で精力的に行い、独特の「福井節」で人気を博す。
著書に、『増補版 上方学』(朝日新聞出版) など多数。

ひうら さとる（漫画家）
1966 年 大阪府生まれ。
1984 年「なかよし」にてデビュー。
初連載『ぼーっきゅばいん』以降『月下美人』『パラダイス★カフェ』など人気作品多数。
その後、“干物女”の言葉も流行した『ホタルノヒカリ』が大ヒット、綾瀬はるか主演で 2 度のドラマ化、映画化。
現在は「Kiss」(講談社) にて『ホタルノヒカリ SP』を連載中。

山村若峯董芳恵（山村流上方舞）
1971 年 大阪府生まれ。
3 歳で山村若峯董師匠に入門。
1991 年 山村流 4 世宗家より若峯董芳恵の名を許される。
2009 年 第 46 回なにわ芸術祭 新進舞踊家競演会にて「地歌 越後獅子」を舞い新人賞始賞受賞。
その他、山村流舞踊家として他多数の舞台に参加。